

堆積土に工事が及ばないよう、十分留意して計画する予定である。

(徳田誠志)

### 田原東陵見張所改築工事箇所之立会調査

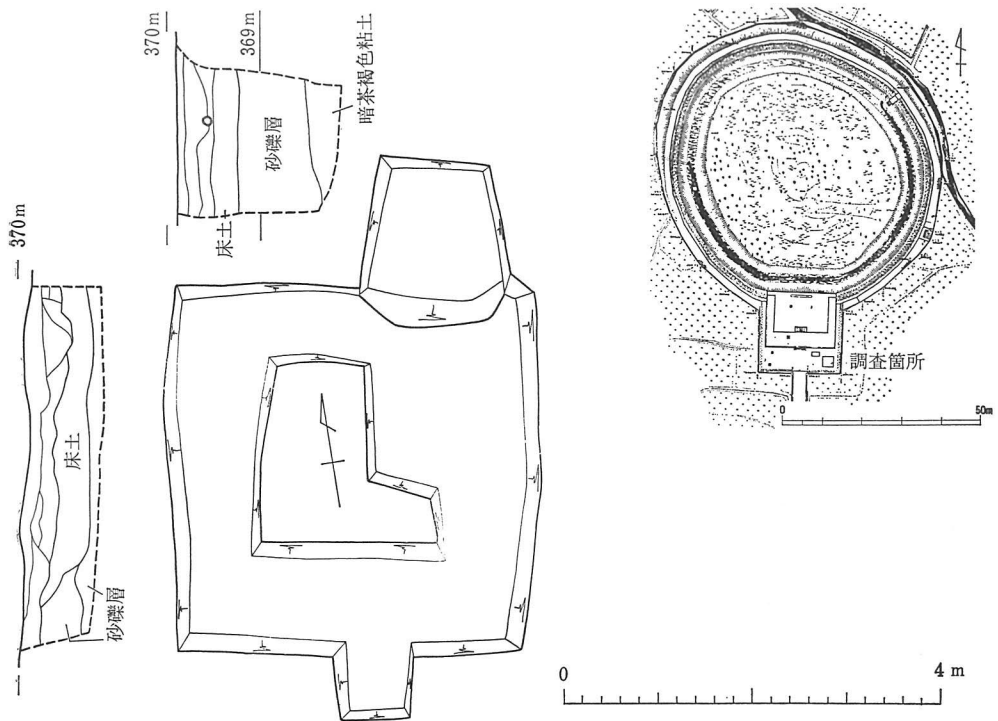
光仁天皇田原東陵の位置する奈良県奈良市日笠町は、奈良盆地の東方山間部に位置し、太安万呂墓で知られているように、奈良時代の官人層の墓域となっていた地域である。当陵は、太安万呂墓から東へ約五〇〇メートル離れた位置にあり、今回見張所改築工事及び付帯工事に伴う立会調査を行った。平成八年八月二十日～十二月二十日の工期中監区職員が、またこのうち九月二日～五日の見張所基礎の掘削には本部職員も参加して立ち会い、遺構・遺物の発見に備えた。

#### 一 見張所改築箇所(第27図)

三・八×三・八メートルの範囲を、最も深い部分で一・八メートル掘削した。土層は、下から暗茶褐色粘土、砂礫の自然堆積層の二層で、上層は砂礫層を掘り込んだ水田の耕土と床土が確認された。砂礫層は湧水が激しく、地下水の流路であることが知られる。遺構・遺物は検出されなかった。

#### 二 電線・水道管理設箇所

見張所改築箇所から、参道・駐車場にかけて掘削した。北半は参道整備時の盛土、南半は切り土された山土と考えられ、遺構・遺物は検出され



第27図 トレンチ平面および断面(1/80) 調査箇所位置図(1/2000)

れなかった。

以上のとおりで、工事は予定通り実施した。

(清喜裕二)

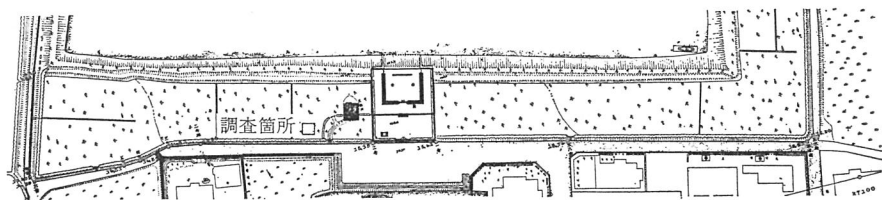
### 百舌鳥耳原北陵見張所改築箇所の立会調査

大阪府堺市には百舌鳥古墳群として、巨大な古墳が展開している。その北端に位置する当陵で、見張所改築工事を実施することとなり、平成九年一月二十七日～三十日に本部職員による立会調査を行い、併せて平成八年十二月十九日～平成九年三月二十八日の工期中には、古市陵墓監区事務所職員が立ち会い、遺構遺物が損なわれることのないよう万全の配慮をした。施工の場所は当陵拝所西側部分にあたり(第28図)、内容は在来見張所改築とそれに伴う配管工事である。

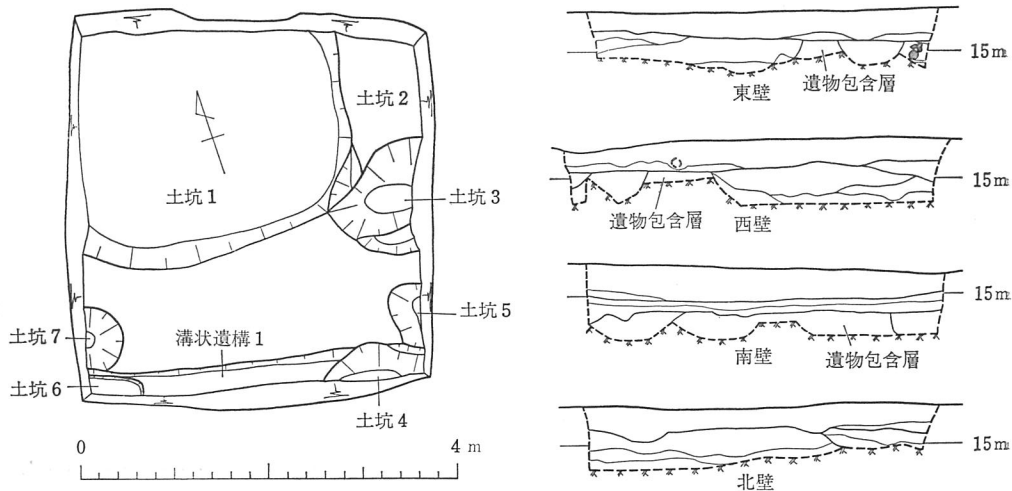
以下、今回の立会調査によって得られた所見を報告する。

#### 一 見張所改築箇所(第28図)

見張所基礎部分を、三・八×三・八メートルの範囲で最終的には〇・八メートル掘削した。在来見張所の基礎は浅く、現地表から〇・二～〇・三メートルで遺構面を検出し、最終的には七基の土坑と一本の溝状遺構を確認した。これらの遺構は当初検出した遺構面から掘り込まれたものであるが、この遺構面自体は暗黄褐色粘質土で、地山に似た特徴を有する遺物包含層であった。南壁を観察する限り、地山面からの掘り込



調査箇所位置図(1/2000)



第28図 トレンチ平面および断面(1/80)